

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名 らいく飯塚店(放課後等デイサービス)

公表日 2026年 4月 1日
 利用児童数 2026年 3月 1日時点

56人中
 回収数 24

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24					スペースは適切であると考えています。次年度よりスペースの変更もありますので改めて意見等ありましたらお伝えください。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2				適切であると考えています。今後も余裕を持った人員を確保できるようにします。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく補完化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				1	該当していません	適切であると考えています。個々に合わせた配慮が適切に出来るよう気を付けて関わります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22		2				毎日清掃をして清潔を心がけています。掃除が行き届いていない所もありますので改善していきたいと思っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24					個々の児童の特性を把握し各職種の専門性を活かした活動を提供しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23				1	支援プログラムに沿った活動を提供しています。ホームページ、廊下に掲示していますので改めて確認していただけると幸いです。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					子どもの性格をよく理解して下さってプログラムを組んでくれる	事前の保護者様へのアセスメントも含めて個別支援計画を作成しています。ご協力ありがとうございます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21				2		個別支援計画の裏面に家族支援等を記載しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24						個別支援計画、作業療法士が作成した専門的支援計画等をもとに支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22		1		1	複数の先生が担当してくれているので、色んなバリエーションがあって子ども飽きない	必要な遊びは繰り返し行います。楽しんで参加出来るように工夫して行っています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5		1	9	9		個別療育の為交流機会はありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23				1		契約時に説明をしています。運営規程等は待合室、廊下に掲示していますので確認ください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24						個別支援計画は半年に1回、専門的支援計画は作成時に説明をしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		2	3	6	実際に情報をいただきペアトレに参加した	外部研修等の案内をしています。自事業所でも活動を見てもらい関わり方の参考にしてもらえればと思います。一緒に活動に参加も可能ですのでお声掛けください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24						保護者同伴で来られますので利用開始時に体調等を共有してから行います。不調時はお伝え下さい。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21		1		3		随時、行っています。保育園等地域と連携も出来ますので必要であればお声掛け下さい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24						共感的に支援が出来るよう支援を心がけています。子育て、集団での悩みがあればいつでも相談ください。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10		3	4	7		父母会、保護者会はありません。必要であれば同じ悩みを持つ保護者同士の関わりを作るようにしています。イベントによっては兄弟児も参加出来ますのでその時はご案内いたします。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18				3		いつでも相談を受付けています。事前に連絡を頂ければ対応しますので、希望があればお知らせください。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22						お子様には特性に合わせて視覚支援を取り入れる等工夫しています。保護者様にも相談しやすい環境を作っています。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	1	9	LINEで出欠の連絡・確認が取りやすいので助かる	ホームページ、Instagram活用していますが、活動や行事等の情報の更新が出来ていません。改善します。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1					個人情報の取扱いには十分に留意して扱っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	1	8			非常災害時の対応は訓練しています。各マニュアルは廊下壁面に掲示していますので確認をお願い致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	3	8			現在は一緒に避難訓練は行っていません。非常時はスタッフが誘導しますので指示に従ってください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		3			安全計画を廊下に掲示しています。次年度からスペースが変りますので、お気づきの点がありましたらお知らせください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	1	6	発生していないので評価困難		事故時の対応をスタッフと周知しています。また事故に繋がらないよう安全管理を徹底します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22						ありがとうございます。お子様が安心して活動出来る環境をこれからも考えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1					ありがとうございます。成長に繋がる活動だけではなく、イベント等も行い楽しんで通えるようにします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22						ありがとうございます。今回頂いた意見を参考にこれからも満足いただけるよう考えていきます。
その他	30	トイレの電気が暗いので子どもが怖がる							ご意見ありがとうございます。会社と相談し改善出来るか検討します。以前ご意見を頂いた、下駄箱、玄関タイルは改善してもらっています。

公表 事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		発達支援ルームらいく飯塚店(放課後等デイサービス)				公表日	2026年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用児童に対し必要なスペースは確保している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		児童の特性に合わせて必要なスタッフを配置している。危険がある場合はスタッフを増員して対応している。	時間帯によってはスタッフの配置や経験年数が未熟な場合があります。スタッフの児童の理解や増員出来るようにします。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		運動のスペース、学習のスペースを分けている。バリアフリーにも対応している。	施設改修をしたため、改めて環境調整を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		空き時間に掃除等を行っている。環境は分かりやすく活動に合わせた空間になっている。	清掃が行き届いていない所があるので、掃除時間を決めて行うよう等清潔を心掛けていきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別での対応を中心としている。また必要であれば保護者と離れる環境等も作っている。	状況に合わせた環境設定が出来るようにしていきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	出来るだけ全職員が参加出来るタイミングでミーティングを行っている。	新しいスタッフもいるため、改めて業務分担等の共有、話し合いの場を設けます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ご意見をもとに話し合いを行い業務改善に繋げている。	自己評価アンケート以外にも保護者の意向を把握する機会を作っていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		適宜ミーティングを行い職員の意見を把握する機会を作っている。	定期的に業務に関する意見を把握する機会を作っていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		第三者による外部評価は行っていません。必要であれば検討していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	希望する研修は受けられるように調整している。	専門性や資質向上の為に研修の機会を多く作って頂けるようにします。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		作成し掲示している。	適宜見直し更新をし、確認出来るように掲示します。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		定期的にあセスメントを行い個別支援計画を作成している。	保護者だけではなく児童のニーズに関して本人の希望等も聞いて個別支援計画を作成していきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援会議等で職員の意見を聞く機会を作っている。参加出来ない場合は、案の回覧時に意見を記入してもらっている。	定期的に児童に関して共通理解が出来利用に状況共有出来る機会を作ります；		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画に沿って活動を提供している。	より具体的な支援を共有出来るように個別支援会議で情報を共有する。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		適切なツールを使用してアセスメントを行っている。	現在使用しているツールにこだわらず、様々なツールを検討していきます。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」は個別支援計画裏面に記載している。	項目ごとにより具体的に分かりやすく支援内容を設定できるようにします。		

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	多視覚から支援が出来るように立案は個人で行うようにしている。立案は個別支援計画、専門的支援計画をもとにしている。	個々の立案ではなく、違う職種や複数人での立案も検討していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		同じ活動でもルールや目的を変更して児童のモチベーションを上げられるように支援している。	より楽しめるように工夫の方法等をスタッフ間で話し合います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別、集団での目標を取り入れている。	集団支援の希望を聞いて合う児童がいれば機会を作っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		状況に合わせた行動や、パニック時の対応等役割は事前に確認しています。	今後は時間帯によっては打ち合わせが出来ない時間もあるので、予定を早く組んで打ち合わせが出来るようにします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	当日職員間で共有出来ない場合は記録等に残すようにしている。保護者様との聞き取り内容も記録している。	出来るだけで活動内での出来事や評価等は具体的に残していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		活動記録だけではなく保護者等の意見相談も記録に残し改善に繋げている。	職員に対して余裕をもって記録を取る時間を確保していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		利用児童が多いため時期を決めて定期的にモニタリングを行っている。	短い期間での見直しが出来ていません。新規利用児童には初めの数か月はモニタリングを細かくおこなっていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者、主任、専門職等よく理解した職員が参加している。	時間帯により担当者会議に出席出来ないケースがあります。余裕を持って参加出来るように職員の増員を検討します。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保健師や学校関係者との連携は取っている。	改めて連携先との連携方法を強化していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		積極的に関係機関と連携を行っている。また集団での適応に向けた指導を行っている。	今後も必要な児童に関して地域と積極的に連携していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		就学前の情報提供や就学後担当者会議等必要な支援を行っている。	改めて関係機関との連携を強化していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	外部との連携は積極的に取るようにしている。外部からOTの先生を招き研修を行い、その中で助言等を受ける機会を作っている。	定期的に外部から助言をもらう機会を設けていけるように検討します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	利用児童の療育形態上交流の機会は作れていない。	イベント等で交流の機会を作れるか検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		同伴の為体調等の情報共有を行いながら活動提示している。	保護者同伴でない場合や、親族の送迎時の児童に関してはLINE等で情報共有をしています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	支援の様子を見てもらうことで関わり方の参考にしてもらう。また必要な研修の案内や掲示をしている。	家族支援プログラムに関する研修等を行っています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明している。また運営規程等は確認出来る場所に掲示している。	更新する内容があるので変更点が分かるように提示します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者様に事前にアセスメントを行い個別支援計画を作成している。	アセスメントから期間を空けずに個別支援計画の作成が出来るようにします。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		保護者様に個別支援計画を示し説明し同意のサインを頂いている。	送迎が両親でない場合の説明同意方法を検討していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		一緒に来てもらっているので活動説明、フィードバック時に最近の様子を聞くなどしている。	相談受付方法や、相談をしやすい雰囲気づくりをしていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	保護者会は開催出来ていないが、同じ悩みを持つ保護者同士は繋げている。イベントでは兄弟児の参加してもらい交流する機会を設けている。	保護者会の必要性等を検討していきます。保護者会でなくとも交流する機会を作れるかも検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談はいつでも受付出来る体制は出来ている。	相談の受け入れ態勢について改めて周知していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタグラムのアカウントはあるが運用できていない。	インスタグラムを用いて情報発信を定期的に出来る体制を整えていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報について十分留意して取り扱っている。	改めて個人情報の使用についての理解を周知していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		保護者様と児童の特性や意思疎通の方法等を共有し、配慮して関わっています。	意思疎通の為のツールの購入や、理解を深めるための研修を受けていきます。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	保健師、相談支援員さん等関係者が入りやすい環境を作っている。	開かれた事業所ではあるが地域住民とは関わりがないため交流の場を作れるか検討していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアルはいつでも確認出来るように廊下に掲示している。	改めて職員間での周知をしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	業務継続計画（BCP）を策定しています。	避難や救助等柔軟に対応出来るように様々な状況を踏まえて訓練を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		服薬、てんかんの有無は確認している。	服薬など更新出来ていないものがある為定期的に更新していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	食事は提供していない。クッキングを行う際は保護者にアレルギーの有無を確認している。エビエンの外部研修を受けている。	新年度、改めてアレルギーの有無を確認します。アナフィラキシーショック時の対応は研修を受けるなど理解を深めていきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理は徹底している。	改修による完全管理等を見直し、計画を更新していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画をいつでも確認出来るよう廊下に貼りだしている。	改修による完全管理等を見直し、計画を更新しご家族へ周知する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		危なかった場面からヒヤリハットの記録に残している。動きの多い児童には対応出来るスタッフの人数を増やしている。	令和7年度は大きな事故はなかったがヒヤリハットに該当する事象は見られた。ヒヤリハット記録を見直し再発防止に努める。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		時期を決めて研修を行っている。定期的に委員会を開催している。	虐待に関する研修(内部、外部)を受け適切な対応が出来るようにしていきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			該当児童は現在いません。必要な場合には委員会での対応を協議を行います。	

公表 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	らそうむ発達支援ルームらいく飯塚店(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を行っている。 ※地域や集団療育と連携を取ることでチームアプローチが出来るようになる。	個別療育を中心としているので、児童の発達に合わせたアプローチが出来る。児童のペースを尊重し、気持ちの切り替えの時間や考える時間を与えることで「自分で出来た」の経験を積み上げられるようにしている。苦手な事には出来ることから段階的に難易度を上げることで自信をなくさないように支援している。	地域や集団療育等と情報共有などの連携方法を確立強化していくことでチームアプローチが出来るようにしていきたい。
2	保護者支援を行っている。 ※子供に対するの理解を深め、関わり方が分かることで余裕を持った子育てが出来るようになる。	保護者に活動を見学してもらうなかで、お子様の特性の共有やどういった関わり方が良いのかを一緒に考えることが出来る。活動の意図を説明することで家でも取り入れられる。常に相談を受け付けられる体制が出来ている。	保護者に対して研修の案内や、受けた研修の内容を伝達する機会を作る。研修等を受けることで相談に対して満足してもらえる回答や対応が出来るようにしていく。
3	地域連携、事業所連携をしている。 ※ひらかれた事業所として相談支援員、利用児童の保育園の先生等が来所しやすい環境を作る。	集団療育と併用している児童が多いため、情報共有等の連携を取りながら療育を行っている。集団療育の様子を見学することで、地域生活での困り事を把握し、個別療育に取り入れている。相談支援員さん、保健師さん等が来所しやすい環境を作っている。	地域保健師さんとの連携をより強化していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	若いスタッフ、経験の浅いスタッフが多い。 ※児童に関する安全管理、保護者に対して相談援助が出来るようになる。	危険予測についてはヒヤリハット等を用いて対応できるようになったが、改修により危険箇所が新たに出来る。相談に必要な経験や知識がまだ足りない。	改修による危険箇所を周知する。また衝突防止クッション等に対応する。 相談援助に必要な知識を得るために研修を受ける機会を多く作っていく。
2	施設内の危険箇所の把握、対応が出来ていない。 ※施設内の改修後の危険箇所を把握し対応する。	改修後、新しいジョイントマットが滑ったり、児童の顔の位置のドアノブや壁面角等危ない部分がある。	ジョイントマットは毎日拭く。ドアノブや壁面等にはコーナーガード等のクッションを貼り転倒時に怪我に繋がらないようにする。
3	地域との関わる機会が少ない。	地域との関わりがない。	同系列のらいむ保育園への集団参加やイベント参加等を検討していく。